

「区将来ビジョン」の策定趣旨

区長が区シティ・マネージャー及び教育委員会事務局区担当教育次長として所管する事務も含め、区内の基礎自治体行政を総合的に推進していく上で、**地域としての区のめざすべき将来像**、将来像の実現に向けた**施策展開の方向性**等をとりまとめ、区民の方々に明らかにします。

この5年間（2018～2022）の振り返り

めざすべき将来像

つながり、ふれあい、みまもり、支えあう、だれもが安心して暮らせるまち

施策展開の方向性の4つの柱

- ① つながる・支えあう（住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり）
- ② 備える（安全なまちづくり）
- ③ 育てる・まなぶ（子育てとまなびを応援するまちづくり）
- ④ 聞く・伝える（区民への必要な情報の発信）

- 各種施策・取組みについては、概ね想定どおり進捗していたものの、新型コロナウイルス感染症拡大のため、多くの取組みが中止や変更を余儀なくされ、一部の計画・目標には未達となったものもあります。
- 達成したものについては、引き続き課題解決に向けた施策を展開することとし、また未達成のものについては、原因を探求したうえで課題を設定し、改善策を検討していくといったPDCAサイクルの徹底を図っていく必要があります。
- とりわけ、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が大きかったものについては、従来の取組みに拘ることなく、ウィズコロナにおいても実施できる具体的な取組みを模索・実践していく必要があります。
- また、これからの5年間（2023～2027）の区将来ビジョンの策定にあたっては、新型コロナウイルス感染症に係る感染状況も含めた環境変化への対応を整理する必要があります。

今後5年間（2023～2027）に向けての基本的な考え方

- この5年間の振り返りを通して、これまでの「めざすべき将来像」及び4つの柱からなる「施策展開の方向性」については、引き続き、課題解決に向けた施策を展開するとともに、PDCAサイクルの徹底を図るものであることから、今後5年間（2023～2027）に向けても継続していくことを基本として必要な修正・更新を行っていくものとします。
- とりわけ、ウィズコロナにおいても実施できる具体的な取組みに係る模索・実践については、各種事業の特性等をはじめ、取り巻く環境や実情を踏まえたうえで、効果的な方策を検討し、実施していきます。
- また、区政運営を図っていくうえで、持続可能な開発目標（SDGs）への意識の高まりなど、H30年度以降の社会や環境変化を踏まえたものとしていきます。
- 2030年までを目指とする持続可能な開発目標（SDGs）は、行政が進めているさまざまな取組みとも密接な関わりがあるため、本市においても、SDGsの達成に向けた取組みの推進、SDGsの理念の普及や理解の促進に努めています。鶴見区としても従来の4つの柱とは別に、SDGsの理念を念頭にした柱（共に生きる）を新たに掲げ、積極的に取り組んでいきます。
- 「めざすべき将来像」についてもSDGsの理念である「誰一人取り残さない」というキーワードを新たに付け加えたうえで、その実現に向けた持続的かつ安定的な施策を推し進めます。

めざすべき将来像

つながり、ふれあい、みまもり、支えあう、誰一人取り残さない、
安心して暮らせるまち

施策展開の方向性の5つの柱

- ① つながる・支えあう
- ② 備える
- ③ 育てる・まなぶ
- ④ 聴く・伝える
- ⑤ 共に生きる

めざすべき将来像

つながり、ふれあい、みまもり、支えあう、誰一人取り残さない、安心して暮らせるまち

5つの柱

1 つながる・支えあう

施策展開の方向性

- 気にかける・つながる・支え合う地域づくり
- だれでも・いつでも・なんでも言える相談支援体制づくり

施策

- ✓ 人と人とのつながりにおいて、お互いが配慮し存在を認め合い、支え合うことで、地域で孤立せずその人らしい生活を送ることができるような、「気にかける・つながる・支え合う地域づくり」を進めます。
- ✓ 支援を必要とするすべての人に必要な支援が行き届く地域社会の実現に向けて、生活の場である地域を基盤として、「だれでも・いつでも・なんでも言える相談支援体制づくり」をめざします。

2 備える

- 災害に強いまちづくり
- 街頭犯罪等や交通事故の少ないまちづくり

- ✓ 今後想定される大規模な自然災害に対する備えとして、区民の防災意識の向上と、地域防災力の強化に向けた支援、区災害対策本部の機能強化に努めます。
- ✓ 鶴見区を安全なまちにするため、地域、関係機関、事業所等と連携し街頭犯罪の抑止や特殊詐欺被害の防止等に取り組みます。また、交通事故の減少や自転車マナーの向上をめざし、啓発活動に取り組みます。

3 育てる・まなぶ

- 安心して子育てできる環境づくり
- まなびを通じたつながりづくり
- 学校教育の支援

- ✓ 地域の関係機関や関係団体と連携し、保護者や子どもが交流・情報交換できる場の設定や相談支援の充実、子育て等に関する情報発信の強化、また児童虐待防止に向け関係機関と連携を図り、支援や相談対応などを行います。さらに、子どもの居場所の確保や学習支援など、安心して子育てできる環境づくりを進めます。
- ✓ 幅広い層に「まなびの場」を知ってもらうとともに、「まなび」を通じたつながりづくりを進めます。
- ✓ 区役所が学校や地域、保護者のニーズや意向を把握し、効果的な学校支援を進めます。

4 聴く・伝える

- 区政情報の発信及び区民ニーズの把握

- ✓ あらゆる世代に必要な情報をわかりやすく提供できるよう情報発信をおこなうとともに、区政会議等により多様な区民ニーズの把握に努めます。

5 共に生きる

- 環境を守り自然と共生したまちづくり

- ✓ 2030年までを目途とする持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、SDGsの区民への浸透を図るなど、SDGsにかかる取組みを進めていきます。